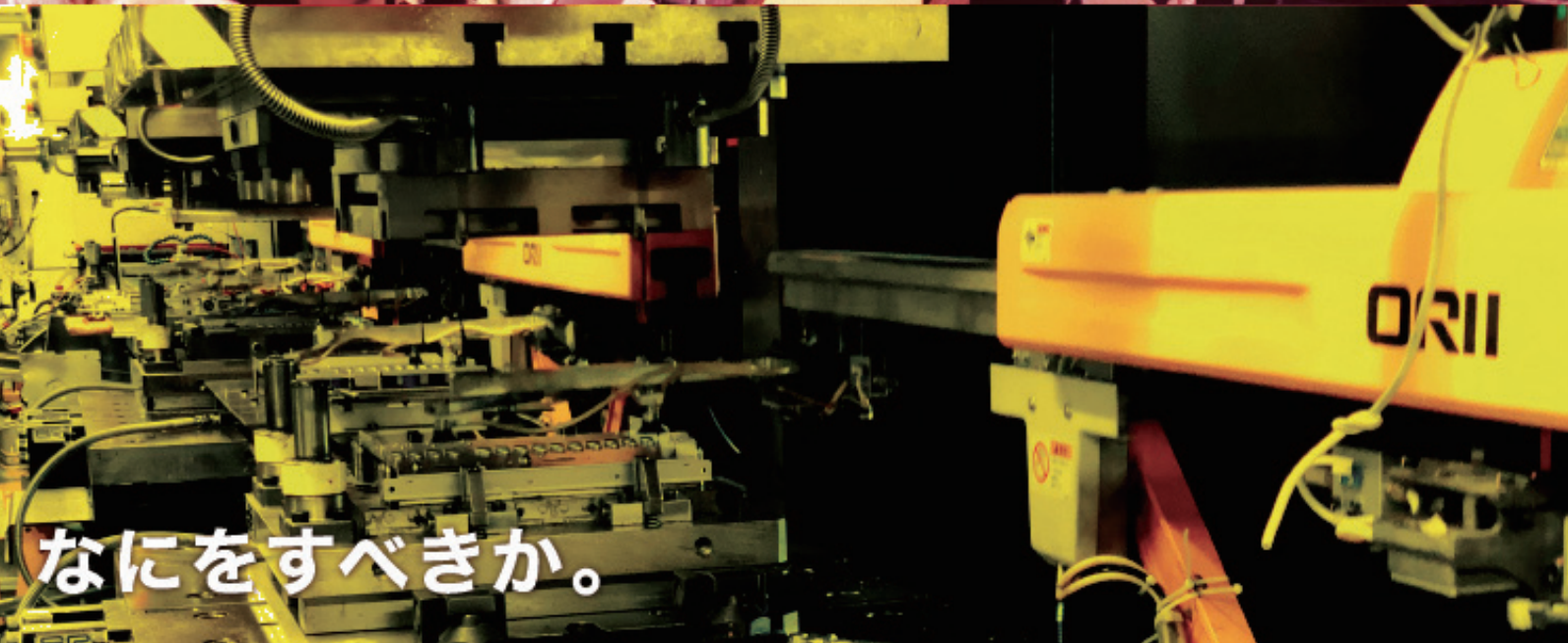
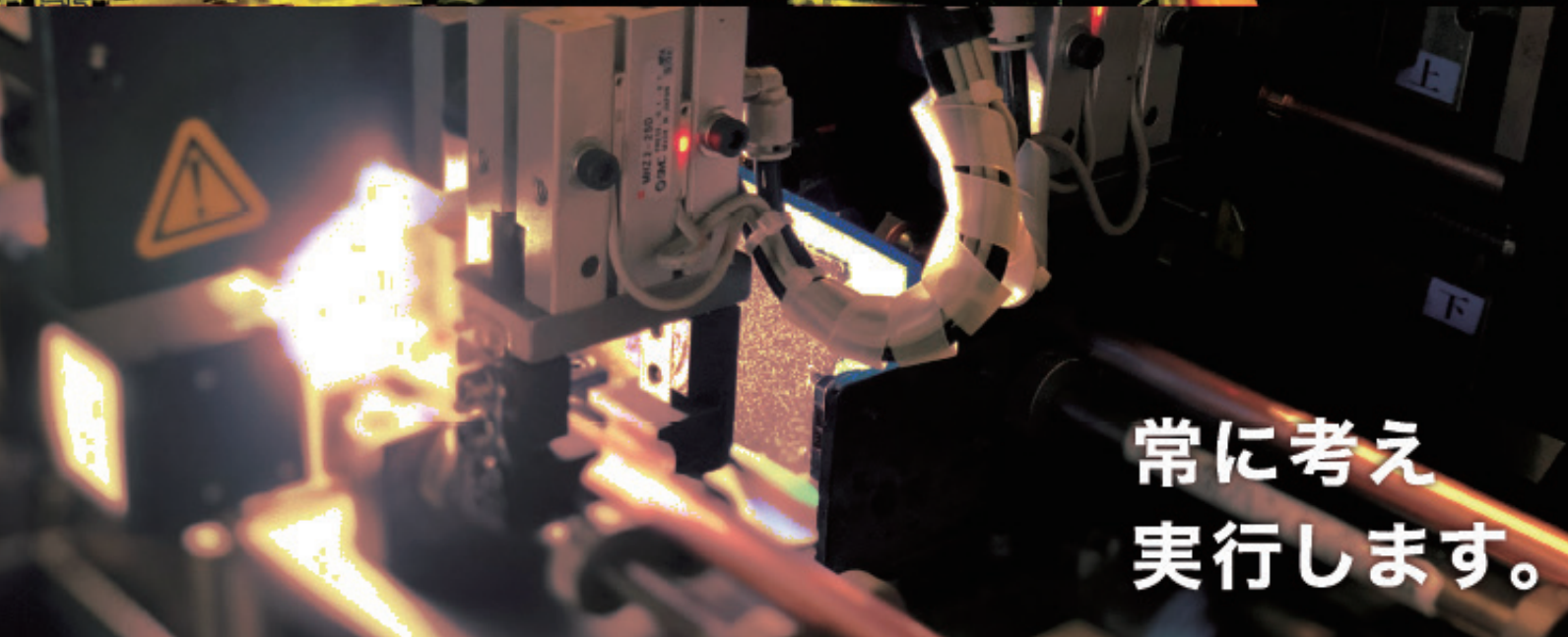


明日を
よくする為に



なにをすべきか。



常に考え
実行します。



大成工業株式会社

創意・誠実・信頼

この3つの言葉に裏付された、
確かな技術と厳しい品質管理体制。
大成工業は常にお客様を意識しながら、
製品づくりを進めています。



あらゆるものを“つなぐ”会社、大成工業

私たち大成工業株式会社は、コア技術である「ろう付け技術」、「溶接技術」、「プレス技術」、「組立技術」を用いた製品によって、水、お湯または冷媒ガスなどを要求される場所へつなぎます。

また、さらには「人と人」や「部門と部門」もつながる会社でありたいと考えています。
私は、個人の人間力が高まることでチーム力が高まり、さらにそのチーム同士がつながりあえば、強い部門、強い工場、強い会社になっていくものと信じています。

そして、社員の想いを未来へつなぐことができる会社でもありたいと考えています。

私は、社員一丸となり、「あらゆるものを“つなぐ”会社、大成工業」を実現してまいります。

なお、今回新たな企業理念「私たちは、人々の“あたりまえ”を支えます」を定めました。
この企業理念には、良い商品を世の中に送り出すことで、人々の“あたりまえ”を支え続ける会社でありたいという想いを込めています。

私たち大成工業の商品は、お湯を使う毎日や冷暖房のある生活など、“あたりまえ”の日常を実現しています。
つまり、社員一人一人の仕事が、人々の“あたりまえ”を支えていることに繋がっているのです。

私たちは、社員全員が人々の“あたりまえ”を支えているという責任と自覚を持ち、
より良い商品を世の中に送り出し続けていくことで、社会に貢献してまいります。

代表取締役社長 山田 耕平

会社概要

会社名	大成工業株式会社
代表取締役社長	山田 耕平
本社所在地	〒674-0093 兵庫県明石市二見町南二見9番1 TEL.078-944-0091(代表) / FAX.078-942-6638
資本金	9,500万円
設立	1961年4月1日(2021年で60周年を迎えます)
従業員数	324名(2020年12月現在)
売上高	110.7億円(2020年度) 122.8億円(2019年度)
事業内容	給湯機器用熱交換器の製造 プレート式熱交換器の開発、製造 薄肉研磨ステンレス管の製造
主取引銀行	三井住友銀行 みなと銀行 (敬称略)



本社/本社工場

〒674-0093
明石市二見町南二見9番1
TEL(078)944-0091(代表)
FAX(078)942-6638



播磨第二工場

〒674-0093
明石市二見町南二見4番
(株式会社ノーリツNAM事業所内)
TEL(078)942-6607
FAX(078)944-1171



播磨第三工場

〒675-0163
加古郡播磨町古宮1番9
TEL(078)941-4491
FAX(078)941-4492



稲美工場

〒675-1105
加古郡稲美町加古1004番
TEL(079)492-5981
FAX(079)492-6091

会社沿革

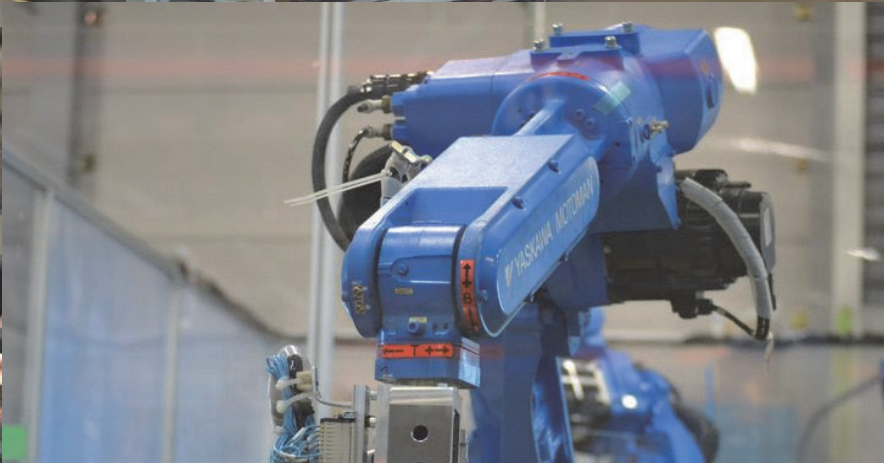
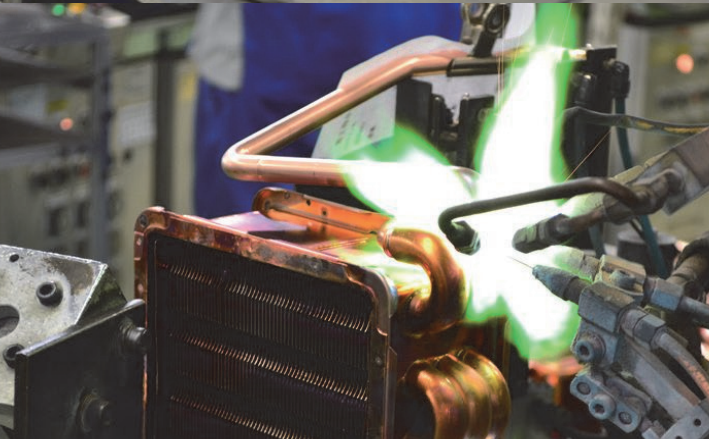
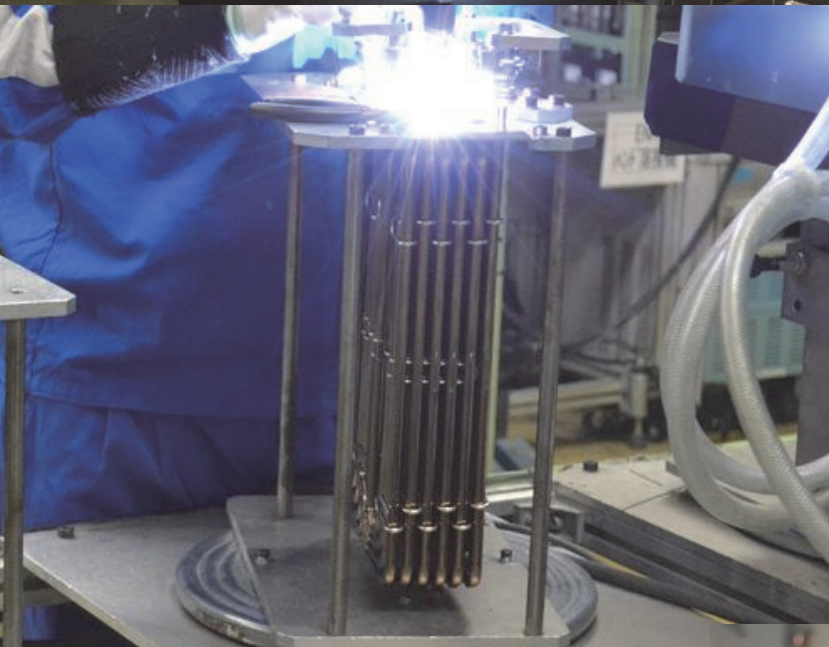
1961年04月	神戸市に大成工業株式会社を設立し、(株)ノーリツの銅板製温水器の製造を開始
1962年12月	本社及び工場を明石市魚住町に移転(明石工場)
1965年10月	明石工場に第二工場を増設
1968年04月	明石工場に第三工場を増設
1976年01月	(株)ノーリツのステンレス製温水器用圧体の製造を開始
1978年06月	(株)ノーリツの銅板製熱交換器の製造を開始
1980年04月	兵庫県加古郡稲美町に稲美工場を新設
1983年04月	本社及び工場を明石市二見町に新設・移転(播磨第一工場・播磨第二工場)
1986年07月	新生産方式『TPS』導入宣言
1995年01月	阪神淡路大震災による被害で操業1日停止
1997年04月	(株)ノーリツのシステムキッチン用ワークトップの製造を開始
1997年05月	金型の内製化事業を開始
1998年03月	資本金を9,500万円に増資
1999年03月	ISO-14001を認証取得
1999年04月	ISO-9001を認証取得
2000年04月	(株)ノーリツの燃焼管の製造を開始
2003年04月	プレート式熱交換器の製造・販売を開始
2004年10月	周防金属工業(株)を子会社として、傘下に組み入れ
2006年05月	新工場(播磨第三工場)の稼働開始
2007年07月	(株)ノーリツの完全子会社(100%子会社化)となる
2010年01月	周防金属工業(株)を吸収合併し、名古屋工場を発足
2011年10月	本社工場を新築拡張し稼働開始
2013年12月	名古屋工場を兵庫県内事業所に生産移管
2014年08月	銅材料の進料・来料加工貿易を開始
2016年08月	リン銅ろう材内製化事業開始
2017年08月	プレート式熱交換器海外輸出事業開始
2018年05月	薄肉研磨ステンレス管事業開始

組織図





大成工業の技術力



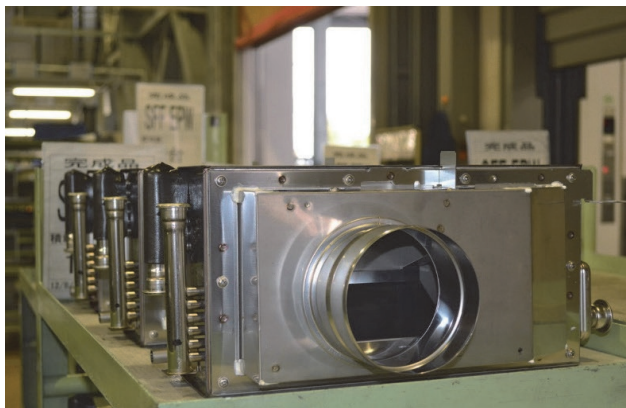
製品情報

創業以来、温水機器の心臓部である『熱交換器』と『バーナー』の生産を中心に発展してきました。熱交換理論と培った技術・ノウハウにより、軽量コンパクトで高効率、信頼性に優れた **プレート式熱交換器** を開発しました。接合技術と量産技術を向上させ、コストパフォーマンスに優れた熱交換器の開発を続けています。

1次熱交換器



2次熱交換器

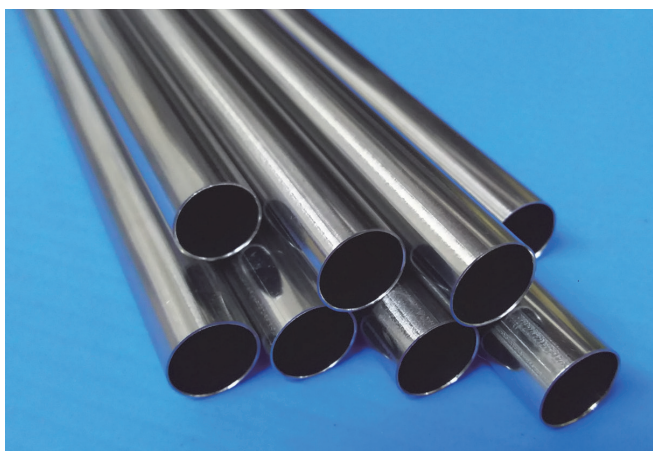


バーナー



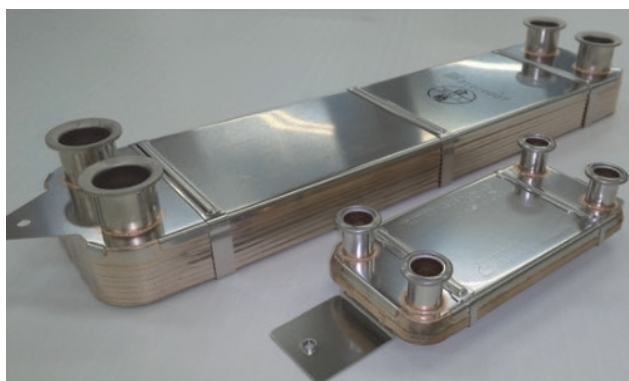
Φ12.7mm 薄肉研磨ステンレス管

材質 SUS220ECO(SUS445J1相当)



プレート式熱交換器

銅ろう付け製品



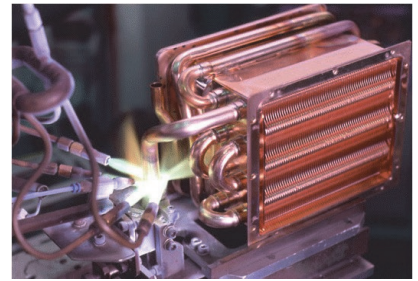
ニッケルろう付け製品



技術

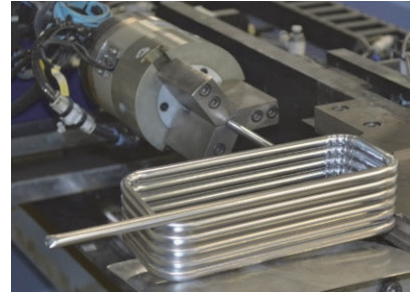
ろう付け技術

熱交換器にとってろう付け技術はまさに命です。銅ろう付けの他、耐食性に優れたニッケルろう材を使用した接合も可能です。



素材加工技術

素材加工技術を確立し、さらにその技術を応用した技術開発を進めています。



設備

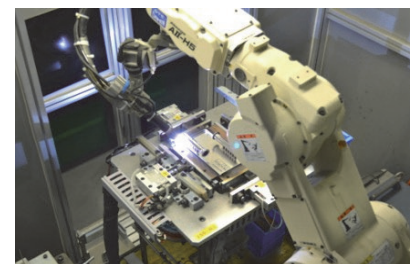
真空ろう付け設備

高い圧力差に耐えることができる真空ろう付け設備の導入により、プレートの厚みを薄くすることが可能です。



ロボット自動化ライン

先進のロボット制御を駆使した自動化により、コスト削減と効率性の向上を図っています。



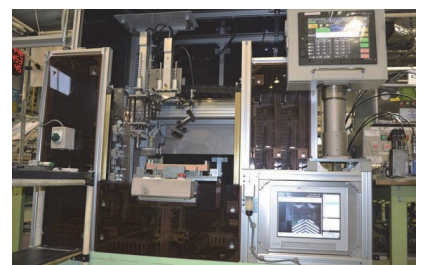
造管設備

レーザー溶接により、入熱の少ない高品質なステンレスパイプを生産することが可能です。



気密・耐圧検査

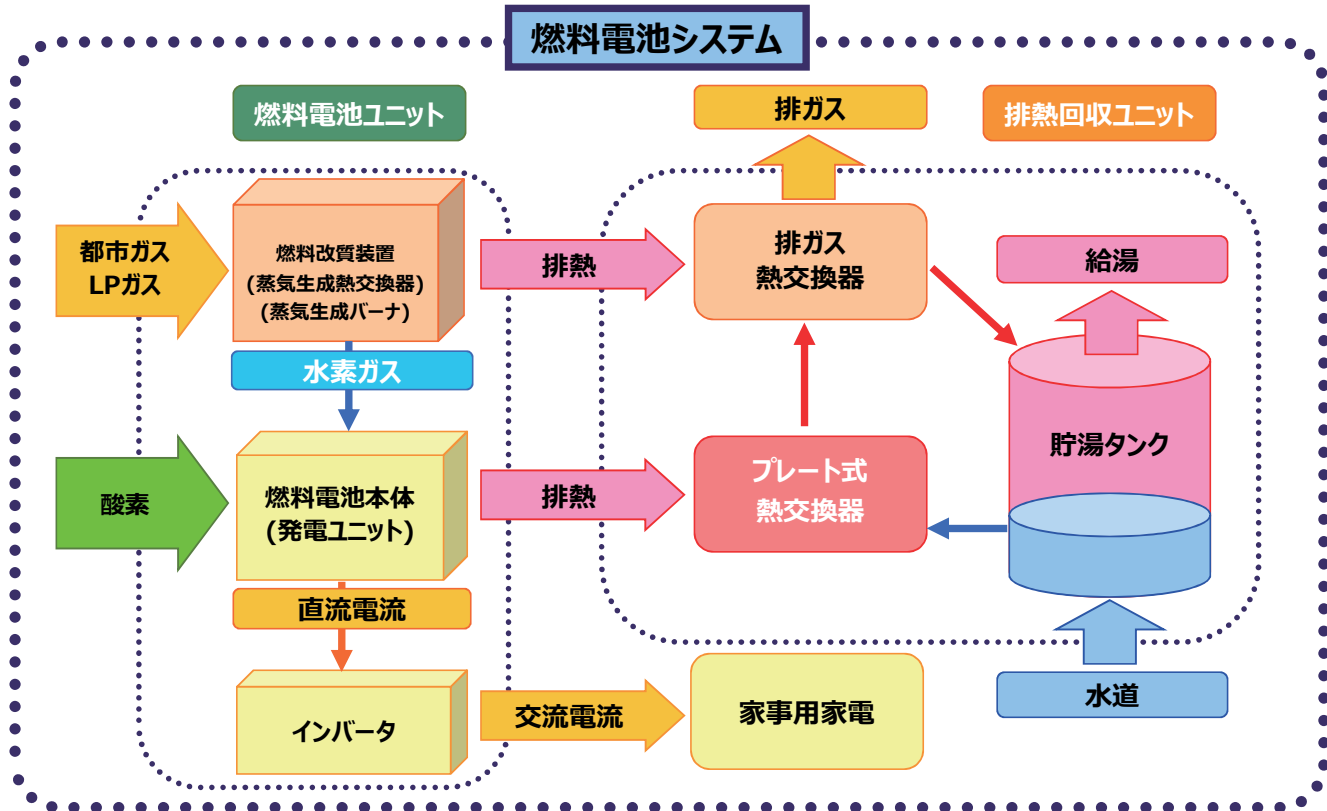
気密・耐圧検査および外観・寸法検査を行い、より多くのお客様に信頼していただけるよう努めています。



その他ご紹介

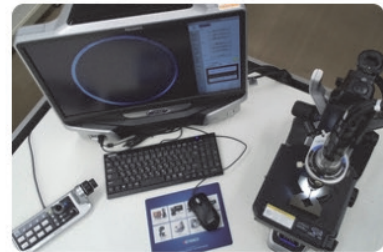
● 応用技術の開発

水素と空気中の酸素から電気をつくりだし、同時に発生する排熱を温水として回収する **燃料電池システム** や、ガスエンジンによって発電を行い、排熱を温水として回収する **ガスエンジンシステム** など、コジェネレーションシステムにも**プレート式熱交換器**が多く使用されています。



● ISO9001(品質マネジメントシステム)

ISO9001に基づく品質マネジメントシステムにより、製品やサービスの品質管理・仕組みづくりを通して、より多くのお客様に信頼、ご満足いただけるよう努力しています。日々の製品品質の確認・分析をX線検査機、三次元測定機、顕微鏡などで行っています。



● NRPS(NORITZ PRODUCTION SYSTEM)

トヨタ生産方式をベースとして、弊社の親会社である株式会社ノーリツが進める生産方式です。『必要な商品を必要なだけ、必要な時にお届けする』独自の生産方式で、あらゆる無駄を無くすこと、短納期で商品をお客様にお届けすることを目指しています。



**あらゆるものを
“つなぐ”会社、大成工業**

**お問合せ窓口
営業推進室**

TEL. 078-944-0092(直通) / FAX. 078-942-6638

E-Mail : sales@taisei.noritz.co.jp

HomePage : <http://netukou-taisei.co.jp/index.html>